

## 平成 27 年度新規採用予定者内定式について

平成 26 年 10 月 1 日  
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、平成 26 年 10 月 1 日（火）10 時から、国立研究所において、「平成 27 年度新規採用予定者内定式」を行いましたのでお知らせいたします。

内定式では、経営幹部立ち会いのもと、鉄道総研理事長 熊谷則道 から新規採用予定者 17 名一人一人に内定通知書が手渡されました。引き続き、理事長から採用予定者へ挨拶が行われました。

### 理事長挨拶要旨

本日、この場においていただいた皆さんに内定通知をお渡しできたことを、大変うれしく思います。内定式に当たり、みなさんにお話ししたいことは次の 3 点です。

1. 修士、博士論文を完成させて大学の課程を修了すること
2. 先達の方法を学びつつ、自分なりの研究スタイルを作ること
3. 研究開発が社会にどのように役に立つか常に意識すること

大学生活の集大成である学位論文を仕上げることは、研究者の第一歩としての価値を持ちます。今年度末までの数ヵ月後に大きな満足を得られるよう集中して取り組んで下さい。先達の研究方法を吸収し、そして、自分の研究スタイルを作ってください。オリジナリティはそうしたプロセスから生まれます。「温故知新」の言葉通り、新しい知を生むために先達の方法をよく見ることも必要です。

皆さんは今、社会への扉の手前にいます。社会では何かを与えられるものではなく、与えることで自分という存在を見出します。鉄道の研究開発は、社会に役に立つ成果が求められます。鉄道に関わる方々は「安全は輸送業務の最大の使命である」という言葉を大事にしています。私たち鉄道人は、より多くのお客様に鉄道を利用していただくために、安全を第一に、高速でエネルギー効率のよい鉄道をつくることにまい進しています。このような鉄道人の思いを折々に感じていただきたいと思います。

鉄道総研は、現在、来年 4 月から 5 年間の活動の計画を作成しているところです。「ダイナミックな研究活動を通じて高い品質の成果を提供すること、鉄道会社をはじめ社会の信頼を得ていくこと」をキーワードにしています。鉄道総研は皆さんの若い力を必要としています。来年の 4 月に、元気で再会いたしましょう。共に鉄道をよくするための研究活動に携われることを楽しみにしています。



写真 内定通知書を手渡す鉄道総研理事長 熊谷則道